

2021年1月1日～2025年1月1日の間に 当科において脆弱性骨盤骨折の治療を受けられた方及び ご家族の方へ

「スクリュー固定による脆弱性骨盤骨折 Rommens 分類 Type IIIa の治療成績」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学運動器外傷・スポーツ整形外科学 臨床助教 日比京佑
研究分担者 川崎医科大学脊椎・関節整形外科学 臨床助教 松崎雄介

1. 研究の概要

近年増加傾向にある骨粗鬆症のある方の骨盤骨折は不安定性があり手術適応となる症例もあります。当院ではこれらの手術適応にある骨折に対してスクリュー固定を行っており、手術後の生活変化や痛みの程度などの成績について検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年1月1日～2025年1月1日の間に川崎医科大学総合医療センター整形外科において脆弱性骨盤骨折の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年9月30日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において脆弱性骨盤骨折の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに骨折のデータを選び、術後成績に関する分析を行い、術後の生活様式や疼痛の改善度などについて調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、受傷前の生活レベルと手術後の生活レベルの変化、機能回復の程度 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター整形外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年9月15日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 運動器外傷・スポーツ整形外科学

氏名：日比京佑

電話：086-225-2111 内線48483（平日：9時0分～17時0分）

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。